

タンネウシ

5月号

生き物ミニ講座 (11月まで毎月開催) 第1回「海鳥の話」5月14日(日曜日)

10:00~ 11:00 博物館映像展示室

講師：中川館長

参加料：大人のみ 200円

申込み不要。直接会場へおいで下さい。

油に汚染された大量の海鳥が斜里海岸に漂着！ウミスズメ類ってどんな鳥？いつもどこにいてどんな生活をしているの？北の洋上に広く分布する海鳥の話です。

「生き物ミニ講座」6月以降は「土の中の小さな生き物たち」「博物館収蔵庫探検」「飛ぶためのしくみ」「食べるためのしくみ」「北方四島の動物たち」などを予定しています。



ハシブトウミガラス(左)もエトロフウミスズメ(右)もウミスズメ科鳥類。知床沿岸に見られるウミスズメ科鳥類は12種類も。

その他の5月の博物館講座

「海岸林植物観察会」5/21(日)9:00~ 12:00
スミレ類などが咲きそろう季節です。町内の春の花を探しに行きます。

参加料：大人のみ 200円 博物館集合・解散

定員7名 悪天の場合は中止。担当：内田暁友

「ウトロ遺跡見学・説明会」

5/21(日)9:00~ 12:00

ウトロで出土した住居跡などを見学します。

参加料：大人のみ 200円 博物館集合・解散

定員20名 担当 松田功

ウトロから参加される方は、知床グランドホテル駐車場 10:00に集合して下さい。

「春の星座と土星・木星観察会」

5/27(土)19:00~ 20:30

春の大曲線を利用して春の星座を探します。

また見頃になった土星と木星を観測します。

参加料：大人のみ 200円 博物館天体ドーム

担当：合地信生

6月の博物館講座

6/24(土)「子ども達のホエールウォッチング」

対象：小学4年生~高校3年生まで 定員20名
初夏の根室海峡でミズナギトリの大群の中を泳ぐミンククジラやイシイルカの群れを船から観察します。詳細については次号でお知らせします。

油に汚染された多数の海鳥が漂着 = 原因は未だ不明 =



回収された鳥類の分類同定作業。多くの野鳥の会メンバーや専門家の協力により行われました。(一斉回収 3月6日)

すでに多くの報道がなされていますが、2月末以来、斜里町の海岸に油にまみれた多数の海鳥が漂着しているのが発見されています。3月の雪解けとともに発見される死体は増え、行政機関等による3回の一斉回収の結果、5300羽を超える海鳥の漂着がこれまでに確認されています。その99%はウミスズメ科の鳥類で、エトロフウミスズメとハシブトウミガラスが大部分を占めています。油の種類は重油と判明したものの、その出所や油自体の存在もまだ不明です。3月29日には斜里町日の出の海岸でオオワシ死体が発見され、解剖の結果油に汚染された鳥類を食べたことが死因とわかりました。二次被害が希少種にも及んだことで問題の拡大が危惧されます。このようなことが2度と起こらぬよう原因を突き止めることが重要です。

油汚染海鳥問題の推移については斜里町のホームページ内に詳しく報告されています。

<http://www.town.shari.hokkaido.jp/he2005/umidor/umidor2.html>

ロビー展 収蔵資料展 4/27~ 5/21

「フィルムカメラの歩み」

デジタルカメラが全盛ですが、性能やデザインなどフィルムカメラの魅力は捨てがたいものがあります。博物館所蔵のクラシックカメラから最新のオートフォーカスカメラまで約50台を展示します。



ロビー展のみ観覧は無料です是非ご覧下さい。